

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2017年7月発行

先月、2020年開催の東京オリンピックの新種目が発表されました。追加されたのは、3人制バスケットボールの男女、卓球のミックスダブルス、柔道の団体戦の男女混合、水泳の混合メドレーリレー、トライアスロンの団体リレー混合、フェンシングの団体男女などの16種目です。2014年に国際オリンピック委員会で採択された「オリンピックアジェンダ2020」に男女平等の推進が提言されていることから、女性の種目や男女混合の種目が増えているようです。男女平等が推進されたオリンピックでの日本選手の活躍が楽しみです。

～防災士養成研修～

四日市市防災・減災女性セミナー

四日市市では、地域の防災・減災活動に女性の視点がなぜ必要かを学んでもらうとともに、地域の防災・減災活動に積極的に参加したいと考えている女性のきっかけづくりの場として、危機管理室・男女共同参画課合同で「防災・減災女性セミナー」を実施し、女性の防災リーダーを育成しています。

●なぜ女性の視点が必要なのか

避難所運営等の意思決定の場に女性が少ないことから、女性の意見が反映されにくく、また女性への配慮が欠けやすいため、性別が一方に偏らないようにする必要があります。

※女性への配慮例・・・着替えスペース・生理用品等の確保、性犯罪の防止など



●防災・減災女性セミナーの内容

地震・津波等の発生のしくみや応急手当の方法、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営など、防災・減災に関わる内容を学びます。

昨年度からは、講義・講習等を受講し、試験に合格すると「**防災士**」の資格を取得できることになりました。

「防災士」とは

自助・**共助**・**協働**を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための**十分な意識と一定の知識・技能を習得した**ことを、日本防災士機構が認証した方のことです。



●避難所運営訓練 実施します！

今年度は、女性リーダーや各地区連合自治会長、各地区防災組織会長、地域マネージャー、ステップアップ受講生、減災アドバイザー、学生消防団など、地域の様々な場で活動されている方々に参加・見学いただき、市として初めて、男女共同参画の視点を取り入れた「**避難所運営訓練**」を行います。避難所のレイアウトの検討・実践や、ルール作り等のワーキングを行い、その後感想・意見交換等を行います。この様子は、8月1日(火)～10日(木)に放送される『ちゃんねるよっかいち』で紹介されますので、是非ご覧ください。今後も、性別にかかわらず、だれもが尊重される「**男女共同参画社会**」の実現に向けて、様々な取り組みを行っていきます。

イベント案内



さんかくカレッジ2017

低栄養予防！介護食を作ろう！ ～現役世代のための介護食入門教室～



誰もが「介護」を担うことになりうる時代。バランスの良い簡単な介護食を作ってみませんか。初めて包丁を持つ方も大歓迎！！現役世代男性向けの2回連続料理教室です。

日時・内容：右表のとおり

定員：8名

場所：本町プラザ3階 はもりあ調理室

申し込み方法等、詳しくは広報よっかいち7月下旬号でお知らせします。



【第1回】

8月19日（土）9：30～12：30

【料理内容】

ねぎ焼き、かぼちゃのそぼろあんかけ、胡瓜のゆかり和え、マーマレードくずかん

【第2回】

8月26日（土）9：30～12：30

【料理内容】

牛肉のちらし寿司、茄子のだし浸し、オクラのサラダ、フルーツヨーグルト

今年も
始まるよ



夏休み子どもさんかくカレッジ2017

キラキラクラッシュゼリーを作ろう

見た目もさわやか、ひんやりスイーツ。簡単でおいしい“クラッシュゼリー”を作って、暑い夏を吹き飛ばそう！！



男女共同参画について学ぶ、ちょこっとさんかく教室もあるよ！

日時：8月17日(木)9：30～12：30

場所：本町プラザ3階はもりあ調理室

定員：10名

ハッピーメガネでしあわせになろう

みんなも一度は見たことのある“虹”についての話と実験、そして、メガネを作って“光”の不思議体験。みんなを「知らなかった世界」へご案内します。

日時：8月18日(金)10：00～12：00

場所：本町プラザ1階ホール

定員：30名

小学生対象の教室です。申し込み等詳しくは広報よっかいち7月下旬号でお知らせします

市民意識調査へのご協力をお願いします。

平成26年度に策定しました「男女共同参画プランよっかいち2015～2020」の見直しと、このプランに「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく推進計画を含めるにあたり、男女共同参画及び女性活躍に関する市民の皆様の意識や生活について、満18歳以上の市民の方3千人（無作為抽出）にアンケートをお願いすることとなりました。8月中旬頃に発送しますので、アンケートが届いた方につきましては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。



相談室
から

女性のための女性の弁護士による 法律相談



女性が抱えるさまざまな問題に理解の深い、女性の弁護士による法律相談です。

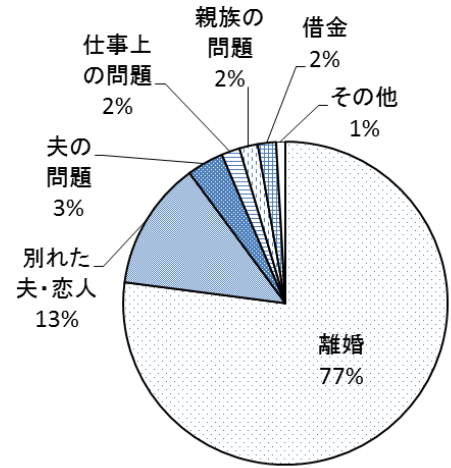
相談室として、面接相談で話をお聴きした後、必要に応じて法律相談におつなぎしています。

平成 28 年度の法律相談は…

法律相談の約8割が離婚に関する相談であり、その内容は、離婚の進め方、財産分与、親権、婚姻費用(別居中の生活費)、慰謝料、面会交流などがあります。その次に多いのは、別れた夫や恋人に関する相談であり、面会交流や子の認知などの相談がありました。

相談者によって状況はそれぞれ異なりますが、弁護士から法的にどのような対応ができるかのアドバイスを受けました。

なお、相談室では、法律相談後も必要に応じ、相談者の支援をしています。



【相談主訴別割合】

今月のキーワード

ワンオペ育児

最近、メディアなどでも耳にする「ワンオペ育児」、もともとは、飲食店で従業員が1人ですべての業務をこなす「ワンオペレーション」から派生した言葉で、何らかの理由で1人で家事・育児のすべてをこなさないといけない状態のことをいいます。主にお母さん1人で担っている場合を指すことが多く、相談する相手がない、時間に追われて心身ともに休まらないなど、厳しい状況があります。特に、パートナーがいるにもかかわらず1人で家事・育児を担っている状態が問題視されており、男性の家事・育児参画は進んできているとはいえ、背景には、核家族化や共働き、長時間労働が大きく起因していると考えられています。「ワンオペ育児」問題の解決には、答えはひとつではなく、その家庭の数だけあるかと思いますが、まずは、負担が偏ることのないように、お互いが認めあって、一緒に関わっていくという意識をもつことが大切なのではないかと思えます。かつて流行した「24時間戦えますか」という某CMのキャッチコピーも時を経て「24時間戦うのはしんどい」と変わってきたとか。生き方も多様化している現代、家庭での役割分担の意識も変わってきました。みなさんの家ではどうですか？

男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

「本日は天気も良く、お肌には悪いかもしれませんが、絶好の除草作業日和で…」と、ユーモアたっぷりの校長先生の挨拶から始まったPTA除草作業。先月の自治会の草取りは夫が出たので、今回は私が参加。子どもの情報交換という名のおしゃべりも楽しみな私だが、友人は「夫には、たまの休みくらいゆっくりさせてあげたい」と話す。保護者の中には、参加できるのは自分しかおらず、とにかく出席しなければと参加した人もいるだろうし、家にいるより草取りの方が楽だと感じて参加した人もいたかもしれない。

聞いた言葉で、「できる人ができる時にできることをやれば、大抵のことはうまくいく」がある。行事参加も家事も子育ても介護も、うまく分担して、みんなが生きやすく、豊かで活力ある生活を送れたなら…。

軽トラックが草袋を満載にして通り過ぎた。歩きやすい通学路になっただろうか。初夏の日差しの下でいい汗を流した除草作業が、参加した保護者にとって、リフレッシュにもなったらしいなあと思う。【担当:D】

登録グループイベント情報

第4回在宅フェア **ザ！ざいたく！！**

日時：7月23日（日）13時～16時 場所・四日市市文化会館第2ホール

「在宅医療」知っていますか住み慣れた地域で安心して暮らしたい。

☆基調講演 「住み慣れた地域で安心して暮らすには」

資料代

300円

講演者：認定NPO法人ホームホスピス協会理事長 市原美穂さん

☆地域サロン活動報告（四日市大学松井ゼミの学生による地域活動レポート）

明日の地域医療を考える住民の会・あした葉 会長・伊世 利子 連絡先・090-8325-8816

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は

セパ三重

さんです。

代表者 市川千鶴子

連絡先 090-1831-1714

セパ三重のセパとは一般社団法人自己尊重プラクティス協会（Self-Esteem-Practice-Association）の頭文字をとっています。代表理事の手塚千砂子先生から認定を受けたインストラクターが活動しています。主に「命の声を聴く自己尊重トレーニング」と「ほめ日記」の普及啓発を中心に活動を進めています。「命の声を聴く自己尊重トレーニング」は「命の体感トレーニング」と「自他ほめトレーニング」の2部に分かれていて、受講者自身が潜在させている「自己尊重感」を表面化し強くしていきます。1部では体の簡単なトレーニングを通して、体と心の心地よい感覚的、感情的経験によりいろいろな気づきを得ることがあります。また、その経験をくり返すことで、様々なプラスの変化や自己発見に出会います。2部では自分をほめることと、他人をほめることの実践をします。自分をほめるトレーニングでは、ノートに必ずほめ言葉を使って書きます。自分の長所や良さをほめるだけでなく、日常の当たり前と思うこともほめ言葉を使ってほめます。他者をほめる時も、「うらやましい」という言葉を使ったり自分と比較したりしないでほめ言葉を使ってほめます。自宅では「ほめ日記」を続けて自筆で書くことを進めています。ぜひ、心地よい感覚や自己発見を体感してください。

◎◎◎あとかぎ◎◎◎

7月と言えば、七夕、海開き、お中元、夏休みなどが連想されます。梅雨明けがいつになるのか気になりますが、夏休みはいくつになっても待ち遠しいものです。私は、涼しい山にでも行こうと思っています。皆さんは、夏休みの計画を立てられましたか。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml